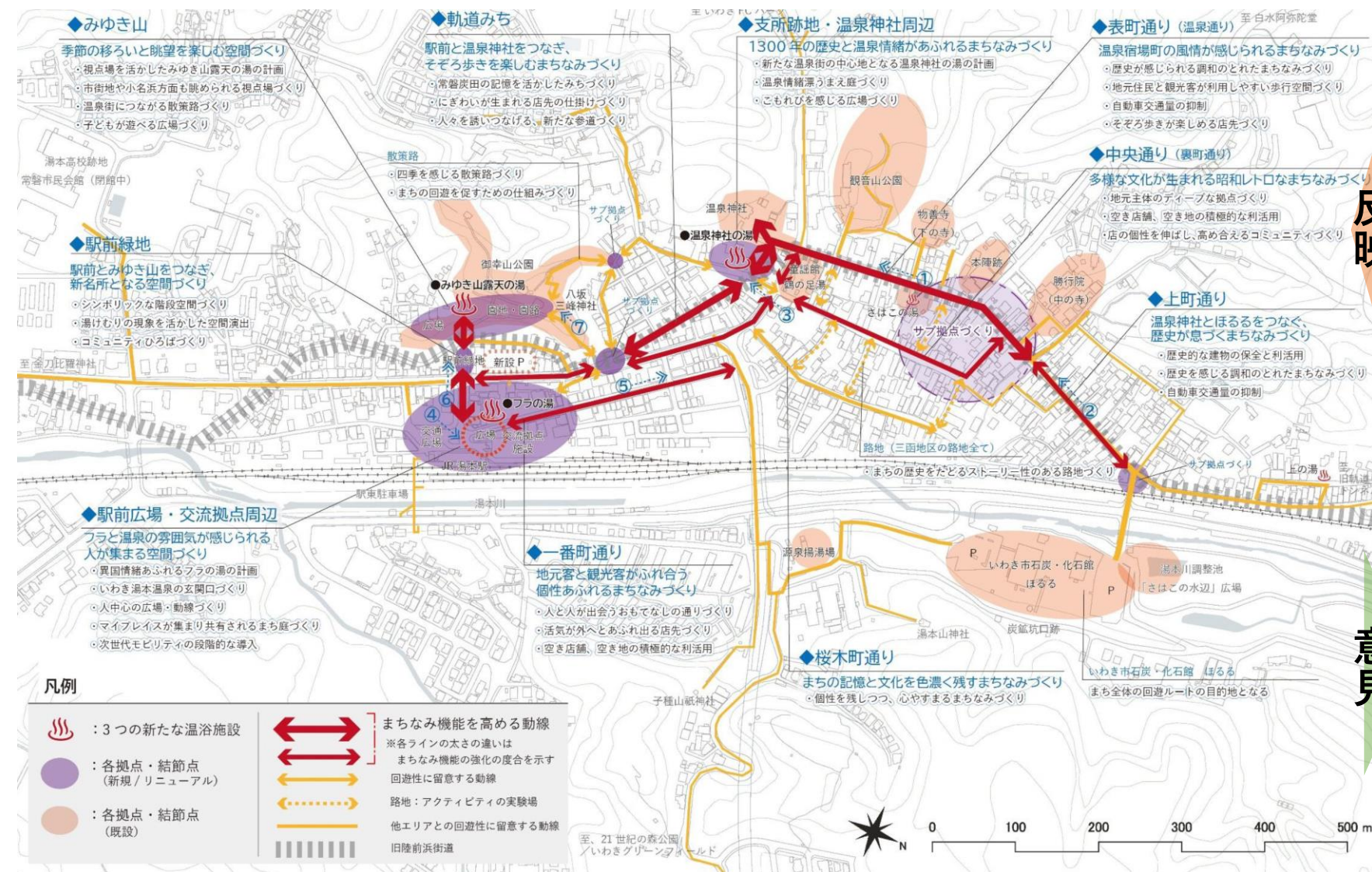


目指す「まちなみ」の方向性について

第3回の意見を反映した全体方針図（たたき台）の内容を確認しました。



反映

意見

第3回で出た意見

- 上町通りも「まちなみの機能を高める動線」として検討しては？
- 表町通り、上町通りは交通量が多いため交通規制を検討しては？ など

第4回で出た意見

- 「自動車交通量の抑制」は、交通規制ありきと誤解されないような表現としては？

まちなみをつくる要素について

まちなみを構成する要素の「整備の考え方」と「使い方のアイデア」について、前回からブラッシュアップした内容を確認し、意見交換を行いました。

＊まちなみを構成する要素：建物（店構え等）、サイン・屋外広告物、小道具、舗装、照明・灯り、おもてなし

▶建物(店構え等)の工夫・アイデア

◆建物の特徴を活かす



▶湯本には看板建築と言われる昭和レトロな建築様式が残されていることから、往時の建築の骨格を残し、まちの空間の段々を考えると、居心地が良くなる、特徴的なまちなみをつくることができます。

◆足を止めてもらうひと工夫



▶サイン・屋外広告物の工夫・アイデア

◆店の個性の表現する



▶このれんは店の個性の表れです。まちなみにワンポイントでアクセントカラーを入れます

◆連続性を生み出す



▶看板をデザインする際には、土地柄を感じさせる文字体を考慮しつつ、周辺所でその雰囲気を合わせる等により、まちなみの連続性が高まります。

◆素材にも気を配る



▶ビニール製、トタン、金物など、時が経つと変化する素材ではなく、瓦、木材、石材といった、時を重ねる（エージング）と共に馴染んでいく素材を、効果的に使ってみましょう。

◆使いこ



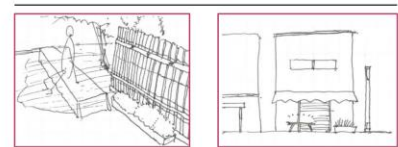
▶居心地の良い1階スペース、
▶立て看板、ノ
方だけで、よ
くりですと

▶小道具の考え方と工夫・アイデア

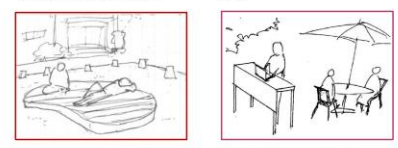
小さなところから創造してみよう

普段まちなかでよく見かけるちょっとした小道具も、使い方によってはまちを一新する力を秘めています。思い描いているビジョンやイメージを具体的に想像しながら、どんな小道具を使えば良いか考えてみましょう。

◆ベンチ・テーブル

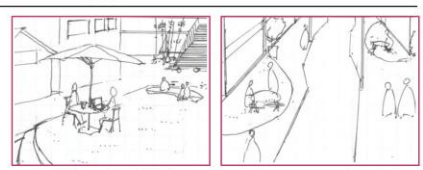


▶ポケットパークなどには緑陰でゆっくりできるベンチを設置しましょう。
▶アクセントカラーで椅子の色を揃えるだけで、一体感が生まれます。



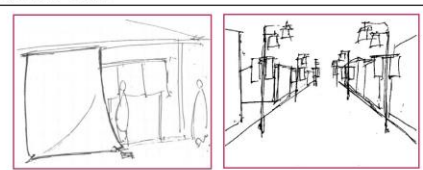
▶湯本の空を眺めながらお話ししたい。ハンモックも良いけど、緑のベンチなら並んで話さうこともできます。
▶長話する時、パラソルの下にテーブルを置きましょう。
▶休憩時間に少し仕事したい時は、スタンドタイプの机を置きましょう。

◆オーニング・敷物



▶パラソルはベースカラーを使うことで、派手な印象を与えず、同じ色でも季節目立ちにくくなります。
▶普段通っているいつもの道に、人工芝のマットを軒先に広げるだけで、立派な滞在空間に変身します。

◆のれん・のぼり



▶幅広いのれんは、見せたくないものを隠しつつ、整然とした店構えに見える便利なアイテムです。
▶照明灯に設置するフラッグは、通り全体で同じ高さ、同じ場所にかけることで、通り全体が引き締まった印象になります。
▶ワンポイントのアクセントカラーなら、より魅力的になります。

▶おもてなしの考え方と工夫・アイデア

おもてなしの3つのポイント

お客様が観光地に訪れた際に、「居心地がいいな」と感じるまちでは、上質で心地良いと感じる「おもてなし」を感じてもらうことが大切です。

▶舗装の考え方と工夫・アイデア

地味だからこそ丁寧に仕上げる

① お客様

普段何気なく歩いている舗装。いつも見慣れて気付かないけれど、主役にはならないけれど、

▶照明・灯りの工夫・アイデア

◆参道空間を演出 ◆安心して歩けるまちに



▶頭上から照らす灯りと、足元にそそぐ光を照らすのではなく、屋根

◆おもてなしの心構え

「いわき湯本の人はやさしい。外から訪れた人たちによく言われる言葉です。」

◆各拠点の橋渡しをする

◆店先を演出しよう



▶みどりの考え方と工夫・アイデア

民と公の連携によるみどりづくり

みどりは、ストレスの軽減、快適性の向上、ゆとりや安らぎ、くつろぎを生み出す、地域生活に欠かせない大切な機能です。加えて生物多様性の向上、地球温暖化の防止、地域防災力向上においても、みどりがまちなみづくりに大切です。

湯本の自然と季節感を持たせたまちなみによって、おもてなしに相応しいみどりを、民と公で役割分担を担いながら、少しずつ育みましょう。

◆民が担うみどりづくり



▶一度の細長い空間でも、鉢植え植栽等を組合せながら配植しつつ、向こう三件両隣の協力により、まちなみの美しさを高めます。



▶草花の路面販売でふれあいと交流が広がります。



▶生活道具も特色あるプランターとして活かします。



▶特徴的な木や花木は、両道の際の目印や木陰となります。



▶株立ちと呼ばれる特徴を持つ樹木を使うと、草木でも林のような雰囲気になります。



▶異国情緒の雰囲気をもった植栽単体だけでなく、他の樹木を複数組み合わせた方が、景色全体の馴染みが良くなります。



▶季節を感じる鉢植えを地域全体で売り出すと、一つのコンテンツになります。



▶水鉢に花を浮かべるだけで、おもてなしのメッセージとなります。

まちなみをつくる要素について

前回の主な意見

- 各商店や民間事業者、それぞれの考え方がある中で、屋外広告物のルールをどのように策定していくことになるのか
 - 各商店の個性や特徴を活かすことができ、不動産価値が上がるようなルールづくりが好ましいでしょう
 - 今後、キャラバン活動やシンポジウムの活動を通して、検討会に参加されていない地域住民の方々からも意見を聞き、対話しながら、屋外広告物のルール作りを進めていきたい
- 空き家や空き地、駐車場が、まちなみを崩してしまう現状があります。どのような方法で出来るのか分かることが大切だと思う
- 和モダンな雰囲気サインは良いと思うが、他のまちでも見る機会が多く特徴がないように感じる
 - いわき湯本温泉らしさ、特徴を表現するポイントを取り入れることが考えられます
- まちの観光スポットとなるように、樹木やモニュメントを上手にライトアップするとよいと思う
- 季節によって、ライトアップの色を変える方法もあるのではないか

沿道や公共空間のまちなみイメージのタタキ台を確認し、意見交換を行いました。

地区のイメージ（案）について

前回の主な意見

- ・ ⑥駅前広場 駅前緑地 みゆき山のまちなみづくりのイメージが、みゆき山に向かう参道空間のような仕上がりに見えるのが非常に良く感じる
- ・ 現在の階段空間は、急勾配のため、登るのが困難。イメージのように、少し緩やかな勾配になり、参道空間のような仕上がりになれば、みゆき山を登る人が増えて、まち全体の回遊にもつながると思う
- ・ サクラ以外にも、紅葉する樹木を植えるのはどうか
- ・ 紅葉する樹木も含め、四季の変化を楽しむことができる樹木がよいのではないか
- ・ 沿道店先の鉢植え植栽は、管理の面で長続きしないことが懸念される
- ・ 鉢植え植栽以外として、竹垣を利用することも考えられる

通過交通を抑制する工夫について

通過交通が多い道路におけるソフトとハードの組み合わせによる施策について共有し、意見交換を行いました。

ソフト対策とハード対策の組合せ

◆ソフト対策		
方法	イメージ	備考
速度規制		・通過交通の速度を抑制できる
交通規制		・時期、時間、イベントによって自由に設定可能 ・他の道路への影響が想定される



◆ハード対策

	イメージ	備考
舗装の変化		・歴史的な雰囲気にもマッチする
舗装(歩道部)の拡張		・歴史的な雰囲気にもマッチする
イメージハンプの設置		・速度制限が可能 ・歴史的な雰囲気にもマッチしない
バリケードの設置		・時間規制との相性が良い ・柔軟に対応できる
狭さを設置		・速度制限が可能 ・規制されていない時間帯は交通の邪魔
道路形状のジグザグ化		・道路幅員が変更しにくいので困難
ハンプ(凸部)の設置		・速度制限が可能 ・歴史的な雰囲気にもマッチしない

前回の主な意見

- ・通過交通が多い原因は抜け道として利用するため。大きな視点で対策を考える必要があると思う。
- ・交通を規制するような社会実験を行う場合は、複数回実施するなどして、周辺の交通状況を確認していくことが必要だと思う。
- ・例えば、まちで朝市をやりたいという意見もあるが、現在の道ではそのような使い方ができない。通りをどのように使いたいか、地域に問いかけ、それに応えられるソフト・ハード対策がよいのではないか

今後の方向性(ソフト対策とハード対策の組合せの方法)は、社会実験を通して検討していく

まちなみづくりサポートブックの進捗状況について

前回は第3回までの検討内容をサポートブックとして仮組したデータを紹介しました。
本日（第5回）は、前回の意見も踏まえ作成したタタキ台を見ながら意見交換を行います。

▶サポートブックの使い方

① いわき湯本温泉の目指す姿について想像してみよう

いわき湯本温泉のまちなみ調査、
ワークショップや検討会での
地域の方々の声をもとに、
いわき湯本温泉の目指す姿を描きました。

本書で描かれたイメージをみながら、
ご自身の理想とするまちの姿について、
ご家族やご友人と語り合い、想像してみましょう。

まちを想い、想像していくことが、
まちなみづくりの第一歩です。

⇒p.07「2.いわき湯本温泉の目指す姿」へ

② 気軽にできる小さなことから始めてみよう

いわき湯本温泉の目指す姿を
実現するための工夫やアイデアが、
要素ごとにまとめてあります。

サポートブックをみながら、
お庭の植物や玄関の照明を変えてみたり、
店先にベンチを置いてみたり、
小さなことから始めてみましょう。

一人ひとりの小さな行動の積み重ねが、
まちなみを少しずつ魅力的に変えていきます。

⇒p.19「3.まちなみのつくり方」へ

③ 建替え/修繕/出店/整備等のタイミングで実践してみよう

ご自宅や店舗の建替え・修繕、
公共工事に係る計画・設計・施工の際には、
設計・施工者と一緒に、
このサポートブックを広げながら、
計画等を進めていきましょう。

さらに、まちなみづくりを
サポートする制度もあるので、
積極的に活用していきましょう。

⇒p.19「3.まちなみのつくり方」へ
⇒p.37「4.目指す姿の実現に向けて」へ